



ミクロネシア NEWS

2020年2月24日第17号
JICA 青年海外協力隊
ミクロネシア連邦派遣
小学校教育隊員
磯崎 春美（中野区立江原小学校）

寒さがゆるみ、春の訪れが近づいていますね。みなさんの健康を願っています。
もうすぐ3月、あっという間に1年が過ぎ青年海外協力隊としての活動もあと1カ月となりました。みなさんも今の学年で過ごす期間はあと1カ月ですね。1年間すごした教室や友達、また担任の先生と残りの時間をおもいきり楽しんでくださいね。

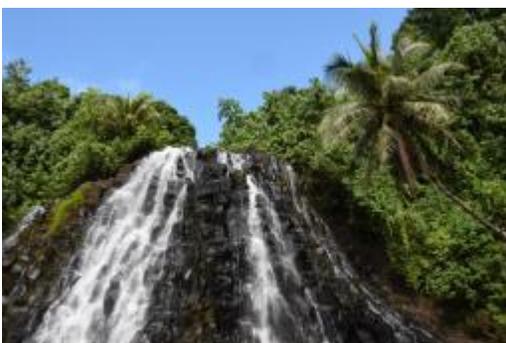
さて、今回のミクロネシアニュースでは「Takarajima（宝島）」という曲について紹介します。この曲は協力隊の友人とポンペイに住む日本人の方と協力してつくった歌です。フランスの有名な「オーシャンゼリゼ」の曲に合わせてポンペイの豊かで美しい自然について歌っています。

「Takarajima」作成のきっかけ



この曲ができたきっかけは同じ協力隊の友人（環境教育ボランティア）が「ポンペイの自然のすばらしさと、それが貴重であることをポンペイの人々にもっと知ってもらいたい」と考えたことでした。南の島、ポンペイは火山性の土地であるために山も木々も多く、雄大な滝など美しい光景が広がります。ヤシの木が生え、庭や道のわきにはバナナが生い茂り、ココナツやマンゴー、そしてパイナップルもたくさんの場所で収穫できます。東京に住んでいた私にとってはポンペイの自然はこれからも守っていかなければいけないと感じました。

一方で生活排水や豚などの家畜の糞尿を川にそのまま流してしまう、海や川にゴミを捨ててしまう人もたくさんいます。この状況を子どもたちに知ってもらいたいと思い、曲をつくって、ポンペイの自然を撮ったビデオとともに YUTUBE にあげて見てもらおう！ということになりました。



ケプロイの滝



夕暮れの海



木々が生い茂る道



海辺や道に捨てられたたきょうのごみ

曲ができるまで



私も友人も音楽に関しては知識がなかったので知り合いの日本人の方に作詞をお願いしました。この方はポンペイに40年以上住んでいて、アコーディオンのとても上手な方です。ネッチ小学校の音楽クラブにも講師として来ていただいていたので、曲は有名な曲でみんなが親しみやすいものにしようということで、いろいろ調べた結果、「オーシャンゼリゼ」を選ぶことにしました。歌詞はその方に頼んでポンペイ語、英語、日本語でつくってもらいました。

音楽クラブの子どもたちと猛練習！

その後、歌を録音することになり活動先の音楽クラブの子どもたちに協力してもらうことにしました。慣れない日本語に最初はとまどっていましたが、歌詞の意味を丁寧に伝え練習を重ねるうちにとても上手に歌えるようになりました。日本の血を受け継ぐ人も多いので、日本語を覚えたいと思っている子どももたくさんいました。今は3月にあるジャパンフェスティバルに向けて歌だけでなく、演奏の練習もしています。



歌と一緒に流れる映像はすべてポンペイで友人が撮った動画です。なんとドローンを飛ばした映像もできます。(実は私も少しだけ出演しています。)

もし、「見てみたい!」と思ってくれたら「たからじま ポンペイ」と YUTUBE で検索してみてください。(動画の表紙の画像) このような画像が最初に出てくる動画です。子どもたちの歌声とポンペイの自然を楽しんでもらえたら嬉しいです。

